



陣内俊 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESIGN WORKS /2008/All Rights Reserved

2020年10-12月号

Vol.53

支援者の皆様へ

支援者の皆様、いつもお祈り、ご支援を心より感謝いたします。

2020年はコロナ禍により、世界中の人と同様、私たちの活動も多くの変更や中断を迫られました。「私が考えていたのと違う」一年というのはしかし、「神が考えていた一年」でもあると思うのです。

天が地よりも高いように、わたしの道は、あなたがたの道よりも高く、わたしの思いは、あなたがたの思いよりも高い。イザヤ書 55 章 9 章

では、神の「高い」思いが具体的に何だったのか、何であるのか、今はまだ分かりません。しかし、いつか分かるときが来ると確信しつつ歩み続けたいと思っています。



11月8日、教会でななみの献児式とかなえの子ども祝福式

2015 年末に燃え尽き症候群になり、二年間の療養をしました。その最中も回復直後も、それが持つ意味が私には分かりませんでした。むしろ混乱、後悔、挫折感で、心の中はぐちゃぐちゃでした。しかし、それから5年経った今、「あの病気は人生に起きた最も辛く苦しい出来事であると同時に、最も良いことでもあった」と心から言えます。「神の高い思い」が何なのかが分かるのに、5年間の歳月を要したのです。喩えるなら、富士山の麓の樹海で彷徨っているとき、今自分がどこにいるかさえ分からないのですが、十分遠くまで歩いたとき、富士山があんなにも美しい山だったことに初めて気づく、というような経験に似ています。

「コロナ禍」がいったいどんな意味を持つのか、まだ私たちのだれも知りませんが、「神のなさっていることは常に美しい」、と信頼しつつ「十分離れたときの美しさ」を楽しみに歩み続けたいと思っています。

好評のメールマガジンを再開します

12月15日から、無料メールマガジン「陣内俊の読むラジオ」を再開します。今回は「シーズン3」となります。毎回、仕事や生活に役立つ情報を提供するだけでなく、日々の働きや活動の様子が伝わるメルマガにもなっていますので、未登録の方は是非、QRコードからご登録いただけますと幸いです。



コロナ禍でも、「建て上げる働き」を続けられる幸せ

- 南浦和バプテスト教会**：コロナ禍で移動は制限されるなかでも、10月には毎年お招きいただいていた南浦和バプテスト教会の礼拝と午後のセミナーで奉仕させていただきました。Zoom参加の方も含め、教会の方々にお会いしたときには、胸が熱くなる特別な感動がありました。かつて移動が命がけだった時代に再会した信徒たちの感動と喜びを、今だからこそ疑似体験できるのかもしれない。
- 霊修会**：所属する練馬グレースチャペルで毎年行われている「霊修会」というイベントがあります。参加者が「静まり神の声を聞く」ための静聴を学ぶ修養会で、教会の伝統になっています。見送りも検討されましたが、「この状況でできる最善のかたちでやってみよう」と秋の開催が決定されました。私は協力牧師として「コロナモード」の霊修会の企画運営の末端に加わり、奉仕させていただきました。プログラムを短縮し、オンラインを組み合わせ、ニーズに合わせた3種類の参加方法を用意し、今までにしたことのないかたちで実施した霊修会は、結果的には大好評で、「行動が制限されても神の働きは制限されない」という教会全体の自信を深めることにもなりました。
- よにでしセミナーオンライン同窓会**：FVI主催の「よにでしセミナー」を11月に札幌で実施する予定でしたが、施設職員の方々や参加者の健康をお守りする確証が持てないため開催を断念しました。その代わりに11月14日に、Zoomにて今までの修了生および今年の参加希望者を対象に、「オンライン同窓会」を開催しました。約20名の方が参加してくださり、密度の濃い時間を持つことができ、参加者からたくさんの「素晴らしい時間だった」というフィードバックをいただきました。
- 帝京科学大学非常勤講師**：今年も帝京科学大学で「動物国際事情」という単位の一コマ（90分）を担当させていただきました。特に後期は主に1年生が受講していると聞き、様々な感情で胸がいっぱいになりました。オンラインでの授業を視聴する大学1年生たちはまだ、入学後一度も大学のキャンパスで授業を受けていないのです（秋の時点）。毎日パソコンやタブレットの前で授業を受け、レポートを書き続ける日々は、どんなにか心細く不安だろう、と思うと、「主イエスの憐れみの一部」が私の心に移植されたように憐れみの気持ちでいっぱいになったのです。授業のために祈りながら準備し、90分の授業を録画し、「コロナ禍で大変な学生生活だとは思いますが、皆さんの勉強は決して無駄にならないし、必ず将来の世界を良くしていくことにつながっていく」というメッセージを加え、「生物多様性とコロナ禍の関係」などにも触れながら熱意を込めて語りました。限定公開YouTube動画は現在170回以上再生されています。授業を履修しているのは毎年50名ほどですから、ひとりの学生が複数回視聴したり、友達に紹介してくれたりしているのだろうと類推しています。神がこのようなかたちで若い方々を励ます機会を与えてくださっていることに感謝しました。

YouTube 動画メッセージ

文字だけでは伝わらない働きの息づかいをお伝えするために、YouTube で支援者の皆様への動画をお送りしています。下の QR コードを読み取っていただきますと、限定公開の YouTube での動画メッセージをご覧いただけます。



メッセージ要約：「芸術と信仰」

主題聖書箇所：創世記 2 章 15 節

2008 年に初めてインドに行ったとき、デリー市内の Reflection Art Gallery という画廊を訪れました。この働きを始めた S 氏から聞いた話が忘れられません。彼は子どものころから絵を描くのが好きでしたが、「神のために献身」という事は、そういった楽しみをすべて捨てる事だと教えられてきたため、長いこと絵を描くことを自分に禁じていました。しかし、「芸術もまた神の関心の範疇である」という聖書的世界観を知ったとき、彼は芸術を神のために役立てたいと願うようになりました。

インドでは女の子の墮胎が社会問題となっていますが、女性の人権のためにキリスト者が声を上げると、それが宗教・政治的な論争の火種になり、不毛な罵り合いに終始することが少なくありません。S 氏は、「芸術を通して発信するならば、こういった対立を生まずに神のメッセージを伝達できるのではないか」と考え、「女性の尊厳」というテーマで合宿型ワークショップを開き、そこで生まれた作品を展示しました。すると、これまで関心を示さなかったヒन्दゥー教徒からも肯定的な応答が得られ、言葉では伝わらない神の心が芸術を通してならば伝わることもあるという手応えを得たのです。昨年 S 氏を再訪しましたが、彼の働きは芸術を通して 10 年以上、インド社会に影響を与え続けています。「芸術」には世界を変える力があるのです。

あなたは「私は芸術家肌ではないから」「絵を描くわけでも音楽をするわけでもないから」という理由で、自分と芸術は関係がないと思われるかもしれませんが、しかし、芸術を意味する英語「アート」には、「芸術や美術作品」という他に、「技巧、熟練、専門の技術」という意味もあります。たとえば「コーヒーを上手に淹れる」ということだって、「アート」になり得るのです。医師として患者を治療すること、不動産仲介業者として顧客のニーズにぴったりの物件を紹介すること、子どもも自分も気分良く子育てをする工夫、、、私たちが主のために上達していくならば、これらはすべて「アート」になります。

神が人類に最初に与えた仕事は、地を耕す (cultivate) ということでした (創世記 2 章 15 節)。ティモシー・ケラー牧師は著書『この世界で働くということ』のなかで、「英語の culture (文化) という言葉は cultivation (耕作、育成) から派生した言葉です。天地創造のわざを通してこの世界を従えられた神は、私たちが神の代理人となってこの地を従える仕事を続け、推し進めるようにと呼びかけておられます。(77 頁)」と記しています。

有償の仕事でも無償のボランティアや家事でも、あなたの「手の業」は「アート」であり、この社会を耕し (cultivate)、この世界に文化 (culture) をつくります。それは「神の創造の業の継続」であり、創世記 2 章 15 節で与えられた神の代理者としての栄光ある務めなのです。



ステイホームの自宅で「アート」に挑戦する長女

祈りの課題

- ◇コロナ禍によって2021年の予定はほぼ「白紙」ですが、神がそこにご自分のご計画を書き込み、御国の前進のために私たちをお用いくださるように。
- ◇俊・純子・かなえ・ななみの体調が守られるように。
- ◇支える会・FVIの財政が支えられ、活動を継続できるように。
- ◇移動が制限されていることで滞っているいくつかの仕事（実際に会っての打ち合わせが必要）がありますが、主の御心ときに状況が整えられ、計画が成し遂げられるように。
- ◇メルマガ、YouTube、Podcastなどでの発信を通し、神が人々を励まし慰め力づけてくださるように。

2021年1月以降の主な活動予定

月 日	内 容	場所、補足
2月15日	FVI 役員会	オンラインにて開催
10月25日	FVI 総会	本郷台キリスト教会（またはオンライン）
随時継続的に	聖書的世界観／包括的宣教の啓発・訓練	国内各地

* 上記は現在までで分かっている暫定的な範囲の予定です。

連絡先（奉仕・各種仕事のご依頼はこちらへ）

陣内への Email shun@karashi.net 無料メルマガ、YouTube 放送、Podcast、ブログなど→「陣内俊」で検索

ご支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援をもってご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。ご支援を心より感謝いたします。

- ゆうちょ銀行口座番号 12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
- 他行からの振込 店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座
口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」
- 郵貯振替口座番号 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」
（同封の振込用紙がご利用いただけます。）

- *振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。
- *振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封いたしますが、振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。お振込くださるときにご利用ください。（毎月ご利用の方のために複数枚同封しています。）
- *Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。